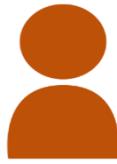
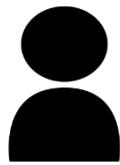


第3回学園運営協議会



学校関係者評価

2025.9.24



○算数・数学は知識を丸暗記する学習スタイルから、考え方を身につけさせる学習に変えていく必要があるのでは。

○休日に家庭学習をしていない子供が半数というデータがある。家庭学習習慣が課題の一つである。

○学力テストは結果ではなく、**結果の要因**を明らかにし、学校・家庭・地域が何をすべきか考えたい。



「学校・家庭・地域の重点的取組」

- 【学校】**
- 「ひのたんタイム」の教科・課題の絞り込みと実施
 - 自己選択のある授業の土台となる学習規律の徹底
 - 学力向上部による学力調査分析と指導方法改善 等
- ⇒「ひのたんタイム」の一層の充実、授業改善、家庭学習の工夫

- 【家庭】**
- 保護者向け「ほめチャレンジ10」の実施
 - 事後アンケートで実施状況等を評価 等
- ⇒「保護者も一緒にチャレンジ10」を実施。後期も項目を加え実施

- 【地域】**
- 9/13の防災行事で中学生の誘導等の協働
 - 日の里まつりでの中学生スタッフ等との協働
 - 「日の里カリキュラム」で地域がGTとして協働
 - 子どもの居場所づくりの推進とその周知 等
- ⇒地域との協働活動は充実。今後さらなる機会提供、仕組みづくり



○学力テストは結果を一面的にみるのではなく、質問紙と関連させて分析することが大事。学校評価も「元気薬」としてとらえ、対応策を家庭・地域を巻き込んで考えていきたい。



運営協議会の様子